

大阪にゆかりの深い超一流アーティストが、中央公会堂に集結!!

クオリア音楽フェスティバル



大阪 エキサイティング バロック

古部 賢一

新日本フィルハーモニー交響楽団
首席オーボエ奏者



岩谷 祐之

関西フィルハーモニー管弦楽団
コンサートマスター



吉田 秀

NHK交響楽団
首席コントラバス奏者



中野 振一郎

日本を代表するチェンバリスト



ヘンデル

ヴァイオリンソナタ 第4番 ニ長調 作品1-13

テレマン

12の無伴奏ファンタジーより

ヴィヴァルディ

コントラバスソナタ 第4番 (オリジナル: チェロ)

ロワイエ

スキタイ人の行進

J.S.バッハ

トリオソナタト長調 BWV1083

場所：大阪市中央公会堂 (3F 中集会室)

日時：2009年 7月13日 (月)

18時 開演 (17時15分開場)

プレトーク (5:50pm~) も、お楽しみください。

	前売り	当日
自由席	¥2,500	¥3,000
ペア券	¥4,000	¥5,000
学 生	¥1,000	¥1,000

チケットお取り扱い

- 電子チケットびあ予約電話
0570-02-9999
- Pコード: 324-134
- @電子チケットびあ
<http://pia.jp/t/>
(※PC・携帯電話共通)
- 取り扱い店舗: チケットびあ店舗/
ファミリーマート/サークルK・サンクス

○お座席は全て自由席となります。
○未就学児は、ご遠慮申し上げます。
■ お問い合わせ
mail : conbriO@hcn.zaq.ne.jp
tel : 080-1522-4778 (9:30~18:00)
(なるべくメールにてお問い合わせください)

主催：特定非営利活動法人 con briO

協力：株式会社 三共 株式会社 サンキョウホーム

株式会社 バイセップス SKハウジング 株式会社

株式会社 三共開発 株式会社 イセイ興産 株式会社 日本アウエッジ

後援：大阪府



あなたは、
本物を
知っていますか?

古部 賢一 オーボエ
Ken-ichi Furube



東京芸術大学在学中に新日本フィル首席奏者に就任。これまで共演したメニューイン、ロストロポーヴィチ、朝比奈隆、小澤征爾など多くの名匠から高い評価と薫陶を受けている。柔らかく甘い音色と響き、バロックから現代音楽に至る幅広い様式に対応する柔軟性と優れた音楽性が高い評価を受け、ソリストとして国内外の数多くのオーケストラと共演し、室内楽でも活躍している。第10回出光音楽賞受賞。東京音楽大学および昭和音楽大学非常勤講師。兵庫芸術文化センター管弦楽団でアソシエイト・プレーヤーとして演奏を行い、メンバーの指導にもあたっている。

岩谷 祐之 ヴァイオリン
Sukeyuki Iwatani



1977年生まれ。4歳より天理教音楽研究会弦楽教室にて東儀祐二、五十嵐由紀子の両氏に師事。1993年 関西フィルハーモニーとサンサンスのヴァイオリン協奏曲を競演。1993～1997年 倉敷音楽祭にオーケストラのメンバーとして参加。1998年 第67回日本音楽コンクール(毎日新聞社、NHK共催)ヴァイオリン部門第3位入賞。1999年 第68回日本音楽コンクールヴァイオリン部門第1位入賞。松下賞、レウカディア賞、鷺見賞を受賞。2001年 フランスへ留学。パリコンセルバトワールでボリス・ギャリツキー氏に師事。2003年 ラジオフランスフィルハーモニックオーケストラにて2nd Violin 主席奏者を勤める。2005年 兵庫県芸術文化センター附属オーケストラ(略称HPAC)に入団。2008年 関西フィルハーモニー管弦楽団にソロコンサートマスターとして入団。これまでに東京交響楽団、京都市交響楽団、関西フィル等のオーケストラとベートベン、シベリウス、プロコフィエフ、チャイコフスキー等の協奏曲を競演。

吉田 秀 コントラバス
Shu Yoshida



1986年東京芸術大学音楽学部卒業。同大学管弦楽研究部首席奏者を経て1991年NHK交響楽団に入団。現在首席奏者を務める。室内楽の分野ではオーギュスタン・デュメイ、ピンカス・ズッカーマン、ライナー・キューヒル、マリア・ジョアン・ピリス、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、カルミナ弦楽四重奏団、ベルリンフィルピアノ四重奏団、ターリッヒ弦楽四重奏団、メロス弦楽四重奏団などと共演。またオイロスアンサンプル、アール・レスピラン、東京シンフォニエッタ、いずみシンフォニエッタ、紀尾井シンフォニエッタ、鎌倉ゾリステンなどのメンバーとしても活動。霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭などにも参加。京都市立芸術大学、東京音楽大学、国立音楽大学で後進の指導にあたる。

中野 振一郎 チェンバロ
Shin-ichiro Nakano



90年10～11月に大阪で開いた4回連続の独奏会「ヨーロッパ・チェンバロ音楽の旅」により「大阪文化祭金賞」等を受賞。翌年7月にはフランスの「ヴェルサイユ古楽フェスティバル」のクーブラン・サイクルに日本代表として参加。92年6月、「バークレー古楽フェスティバル」へ最年少の独奏家として招かれる。93年ロンドンの独奏会場ウィグモア・ホールのデビュー・リサイタルを開き、「日本人には珍しいパーソナリティを持っている。」と的確な評価を受けた。CDの収録にも意欲的で、2000年に出した「ゴルトベルク変奏曲」はヒストリカルとモダンを弾き分けるとい誰にも真似の出来ない演奏と発想でレコードアカデミー賞に輝いた。2003年5月にはバッハアルヒーフ主催の「バッハ フェスティバル イン ライブツィヒ 2003」に参加。J.S. バッハ／ゴルトベルク変奏曲、C.P.E. バッハ／チェンバロ協奏曲 イ短調Wq.1(世界初演)等を演奏し、好評を博す。続く2004年8月、ドイツで行われたソロ・リサイタル・ツアーでは地元紙から「“外”のチェンバリスト」「耳のご馳走」など大絶賛された。2004年10月にC.P.E. バッハの作品を取り上げ行ったリサイタル(大阪・イシハラホール)が、2004年度文化庁芸術祭・大賞を受賞。2008年度「音楽クリティック・クラブ賞」受賞。

クオリア音楽フェスティバル

(クオリアとは…はてな?)

脳が感じる「質感」・「状態」、簡単に言えば、「～な感じ」。

脳科学の分野でも、明確な答えの出されにくい、心を持つ人間特有の感覚らしい。人は、感動するという体験を通して、生きる意味や喜びを、それぞれに見出している。

感動なしにして、新たな発想は生まれず、未来へと繋がる日々は、得られないのだ。



コンプリオ